

Jp ファームウェア (C: 3.50) による変更点について

カメラのファームウェアをC:3.40からC:3.50にバージョンアップすると、この補足説明書の内容が追加または変更されます。ファームウェアバージョンC:3.40までに追加・変更された機能については、Z 7/Z 6「活用ガイド」をご覧ください。

カメラのファームウェアバージョン確認およびバージョンアップは、セットアップメニュー [ファームウェアバージョン] で行えます。Z 7/Z 6の最新のファームウェアは、ニコンダウンロードセンターからダウンロードできます。

<https://downloadcenter.nikonimglib.com/>

カスタムメニュー f2 [カスタムボタンの機能] に [フォーカス位置の登録] / [フォーカス位置の呼び出し] の追加

カスタムメニュー f2 [カスタムボタンの機能] で割り当てられる機能に [フォーカス位置の登録] と [フォーカス位置の呼び出し] が追加されました。[レンズのFn ボタン] に [フォーカス位置の登録] を割り当ててレンズのFn ボタンを長押しすると、ピント位置（フォーカス位置）を登録できます。[レンズのFn2 ボタン] に [フォーカス位置の呼び出し] を割り当ててレンズのFn2 ボタンを押すと、登録したピント位置を素早く呼び出すメモリーリコールの機能が使用できます。決まったピント位置で頻繁に撮影する場合に便利です。

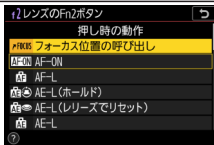
- メモリーリコール機能は、Fn ボタンと Fn2 ボタンのある、オートフォーカス可能なZマウントレンズの装着時にのみ使用できます。Fn2 ボタンのないレンズの場合、レンズのFn ボタンに [フォーカス位置の登録] を割り当てていてもピント位置を登録できません。
- ピント位置の登録と呼び出しは、静止画モードと動画モードのどちらでも可能です。
- ピント位置の登録は、フォーカスモードの設定にかかわらず可能です。
- カメラからレンズを取り外したり、レンズを交換した場合は登録したピント位置がリセットされます。

メモリーリコール機能の使い方

- 1** カスタムメニュー f2 [カスタムボタンの機能] にある [レンズのFnボタン] で [フォーカス位置の登録] を選ぶ

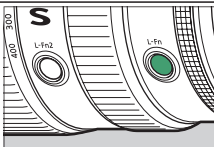


- 2** カスタムメニュー f2 [カスタムボタンの機能] にある [レンズのFn2ボタン] で [フォーカス位置の呼び出し] を選ぶ



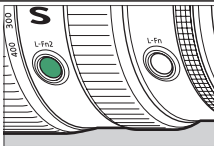
- 3** 撮影画面で被写体にピントを合わせ、レンズのFnボタンを長押しする

ピント位置が正しく登録されると、ピント位置が登録されたことを示すアイコンが撮影画面に表示されます。



- 4** レンズのFn2ボタンを押す

- 登録したピント位置にセットされます。
- レンズのFn2ボタンを押している間は、フォーカスモードがMFに変更され、シャッターボタンを半押ししてもピント位置は移動しません。



▼ メモリーリコール機能についてのご注意

- ・ インフォ画面の表示中は、ピント位置を登録することはできません。
- ・ 環境温度の変化によっては、登録時と呼び出し時のピント位置が変わることがあります。
- ・ ピント位置を登録した後で、ズーム操作で焦点距離を変えると、呼び出し時にピント位置が変わりやすくなります。この場合、セットアップメニュー [電子音] > [電子音設定] が [無効] 以外に設定されていると、ピント位置を呼び出したときに電子音が短く4回鳴ります。

ヒント：電子音について

- ・ セットアップメニュー [電子音] > [電子音設定] が [無効] 以外の場合に、静止画モードでピント位置の登録や呼び出しを行うと、電子音が短く2回鳴ります。
- ・ サイレント撮影時や動画モード時、および [電子音] > [電子音設定] が [無効] の場合は、電子音は鳴りません。